



災害に備えて避難所におけるDX活用を

内藤 幸男 議員 《自民党・いさま》

熊本県八代市は、DXを活用した災害対策を推進しています。中でもスマート避難所と呼ばれる避難所運営方法は、LINEやQRコード等を活用し、避難者への必要な情報提供と多様な申込みをオンラインで行い、運営者と利用者双方の間が少ない避難所とするものであり、避難所での個人情報流出のリスクも軽減できます。DX導入による災害ボランティアセンター開設訓練を行った本市であれば、避難所運営においても応用した対策が取れると感じますが、見解を伺います。

市長室長 避難所の受入れには多大な人員が必要ですが、特に避難者の受付は、家族構成や家屋の被害状況、体調確認など、多岐にわたる確認作業が生じることから、対応スタッフや避難者に負担が生じます。その際、デジタルやICT等のシステムを活用することで円滑な受付が図れると考えますが、事前に避難者の情報を得る必要があると慎重に検討する必要があります。現在、内閣府が主導し、クラウド型被災者支援システムを構築しており、本市として国等の動向を注視し、システムの導入に向けて調査研究をしています。



(仮称)新田宿四ツ谷公園整備について

清水 剛 議員 《自民党・いさま》

(仮称)新田宿四ツ谷公園整備について、過去2度の一般質問で、子供の遊具や備品の設置、健康増進器具の設置、災害時に活用できる設備の設置など、公園整備に触れており、地域住民に実施した公園の方向性についての事前アンケート結果ともある程度一致した内容でした。この内容を兼ね備えた公園整備が可能か、見解を伺います。また、(仮称)新田宿四ツ谷公園周辺の道路や水路の整備は、公園利用者や移転が予定されている保育園の園児の安全を確保するためにも必要と考えますが、見解を伺います。

都市部長 公園整備について、可能な限り地域の皆様に長く愛されて利用いただける公園を計画し、予算化していきたいと考えています。公園周辺の水路、道路整備の必要性については、当該公園隣接地には保育園も整備されるので、地域環境の変化から、周辺施設の安全対策の検討も必要と考えます。本件については庁内横断的に対応していきます。

環境経済部長 公園周辺の水路の安全対策について、公園利用者や保育園児の転落事故等を未然に防止するため、今後示される公園整備計画等を踏まえて、公園周辺の水路の安全対策について検討していきます。



コミュニティバスさがみ野コースの乗り残しの現状と運行の改善について見解を問う

京免 康彦 議員 《自民党・いさま》

座間市コミュニティバスのさがみ野コースにおける乗り残し人数の現状と利用実態の調査結果を伺います。あわせて、運行の改善について見解を伺います。

都市部長 令和3年度の実績で乗り残し人数が最も多いのは、さがみ野コースで年間109人、全コース合計で年間215人の乗り残しが発生しています。運行見直し前の平成30年度の乗り残し人数は、全コースで1日約3・59人でしたが、令和3年度では約0・6人であり、改善されたことが認識されています。しかし、さがみ野コースの乗り残し人数が最も多いことは認識しています。

都市部長 令和3年度の実績で乗り残し人数が最も多いのは、さがみ野コースで年間109人、全コース合計で年間215人の乗り残しが発生しています。運行見直し前の平成30年度の乗り残し人数は、全コースで1日約3・59人でしたが、令和3年度では約0・6人であり、改善されたことが認識されています。しかし、さがみ野コースの乗り残し人数が最も多いことは認識しています。

都市部長 乗り残しの多くがさがみ野コースで発生している状況から、改善の必要性は十分認識しています。乗り残しの発生状況のデータを確認し、対策としては、臨時バスの運行やデマンド型交通の導入などが考えられるので、具体的な対策を検討していきます。



ケアラー(介護者等)に対する支援強化を

安田 早苗 議員 《座間市公明党》

ケアラーとは、家族など身近な人を介護する人のことで、近年、介護疲れを背景に家庭内での不幸な事件が相次いでいることは社会的にも問題であり、ケアラーに対する支援制度や仕組みの構築は急務です。県のケアラー実態調査では、自身がケアラーだと気づかず、必要な情報が行き届いていないことがわかりました。そのように情報がなく孤立すると相談先が分からず、具体的な支援に結びつきません。本市でも実態調査の実施及び市としてマニュアルを設けた上で対象者の家庭を訪問して、必要な支援につなげるアウトリーチ型支援をするべきと考

健康部長 支援が必要なケアラーをアンケート方式で把握することは困難ですが、地域包括支援センターの専門職による総合相談や地域住民、関係機関からの情報により、支援が必要なケアラーを把握して家庭訪問等につなげていきます。また、地域包括支援センターやケアマネジャーが有している知識や経験は非常に貴重であり、これらを集約していけば一つのマニュアルになると考えます。ケアラー支援の事例や苦慮したこと、課題等を共有し、支援に有益な事例を集約していくことを検討したいと考えます。



部活動の地域移行について

美濃口 集 議員 《さま大志会》

部活動の地域移行について、本市の考えを伺います。加えて、現在、取り組んでいることや今後取り組むことがあればお示しください。また、令和4年6月にスポーツ庁に提出された「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」において、市町村が地域スポーツ担当部署の設置や地域スポーツ団体、学校等の関係者で構成する協議会を設置して、活動の実施主体やスケジューリングなどを検討し、実行する必要があると記載されています。本市において、協議会の設置についての考えとスケジューリング案などがあればお示しください。

教育長 部活動を地域移行するにあたり、指導者の確保、受皿の確保、予算の確保、施設の確保、費用負担や保険の在り方などについて検討していきます。まずは令和4年度中に部活動の地域移行に係るアンケート調査を教員に実施し、令和7年度末を目途に、段階的に地域移行を進めていく予定です。また、本市でも協議会の設置は必要だと考えています。具体的なスケジューリングは未定ですが、スポーツ庁や文化庁の提言を基に、他市町村の取組を参考にしながら、関係機関と協議し、令和5年度中に協議会が設置できるように検討していきます。

議会中継を行っています

議会の様子をさらに広くお伝えするため、インターネットで本会議の中継映像を配信しています。

映像はパソコンやスマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。

ぜひ、ご利用ください。



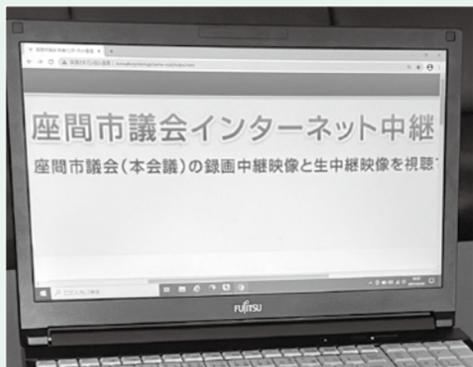
座間市議会 を 検索

インターネット中継

クリック!



議会中継HP



〇問合せ先 議会事務局 ☎046(252)8872

請願・陳情の提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。請願・陳情の記入例は市議会のホームページをご覧ください。

なお、提出の際にご不明な点や定例会ごとの締切日は、議会事務局にお問い合わせください。

☎046(252)8872